



JR東海労の要求実現！ 夏用制帽の統一化勝ち取る！

4月1日より、これまで夏用と冬用に分けてあった制帽が、夏用に統一することになりました。また、新たに貸与する制帽については、メッシュ素材のスベリが付けられる改良型になるとのことです。

JR東海労は、昨年の労働協約・協定改訂時、「通気性の良い夏用制帽に統一すること」と、要求していました（『業務速報』No.1420、26ページ参照）。当時の会社回答は「そのような考えはない」としていましたが、JR東海労は「冬用はビニールコーティングで汗で蒸れる。JR西日本などでは制帽は廃止した。汗で蒸れにくい夏用に統一することは簡単だ」と、主張しました。JR東海労の要求が実現しました。

会社は当初、JR東海労の要求を受け入れない姿勢でした。なぜなら、その場で要求が実現すると、JR東海労の成果であることが明らかになるからです。ある程度、時間が過ぎて、忘れた頃に改善したことを明らかにすれば、JR東海労の要求を受け入れなかったとなるのです。

今回は些細な要求ですが、今後もJR東海労は社員の声を大事に、要求獲得に取り組みます。